

愛西市立立田中学校で防災講座を行いました

令和8年7月3日（金）、愛西市立立田中学校で1年生35名に防災講座を行いました。学校の近くには木曾川や鶺鴒川が流れています。講座は令和6年から実施しており今年で3年目です。

講座では、愛西市でも被害のあった伊勢湾台風、今年で発生から50年の節目を迎え、市内を流れる目比川（むくいがわ）が決壊した9.12豪雨災害、東海豪雨などを学習しました。学校の南に位置する立田南部小学校の伊勢湾台風時の浸水被害写真を見た生徒たちは、身近な場所が被害を受けていたことにとっても驚いていました。

また、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風A1語り部との対話体験、A1水防災カードクイズ、竜巻や雲をつくるペットボトル実験を行いました。A1語り部には「一番怖かったことはなんですか?」「どのくらい被害がありましたか?」などと質問をして伊勢湾台風への理解を深め、カードクイズや実験では友人同士話し合い楽しみながら学んでいる様子でした。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

